

【甲佐町】  
校務D X計画

## 1. 現状と課題

### (1) 現状

1人1台端末の導入等に伴い、I C Tを活用した校務の効率化が進められている。学校では校務の情報化とともに校内におけるペーパーレス化を意識しながら、職員会議や教職員同士の情報共有や連絡等を行っている。一方で、クラウドツールの活用が十分でない場合があり、F A X・押印などの手入力作業や、I C Tを活用した校務の効率化について、教職員のI C T活用スキル等によって学校間で格差がある。

### (2) 課題

「G I G Aスクール構想の下での校務D X化チェックリスト」による自己点検の結果(文部科学省 令和5年11月実施)で課題として、取組の実施について学校内で検討する時間がないことや、取組について何から着手していいかわからないなど、校内におけるクラウドの活用やF A X・押印などデジタル化や校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業といった省略可を検討する必要がある入力作業等が十分でない現状、教職員のネットワーク利用に関する理解の深化やI C Tスキルの向上、校務の効率化などに関して学校間・教職員間で差がみられるなどの課題がみられる。

## 2. 今後について

I C T支援の活動の充実を図り、学校間・教職員間の格差解消、情報提供等の取組をより積極的に推進する。

今後は、これまでに導入した校務支援システムを令和7年4月からクラウド版へ移行することにより、クラウドツールの有効活用等に関する事例等を情報収集し、クラウドの活用を積極的に推進する。また、F A X・押印などの廃止に向けたデジタル化や校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業といった省略可能な入力作業の一掃等に関してI C T担当者会等で検討し、教職員向け研修や活用事例集を通して普及・指導等を実施し学校間・教職員間での格差解消、情報提供等の取組をより積極的に推進する。